

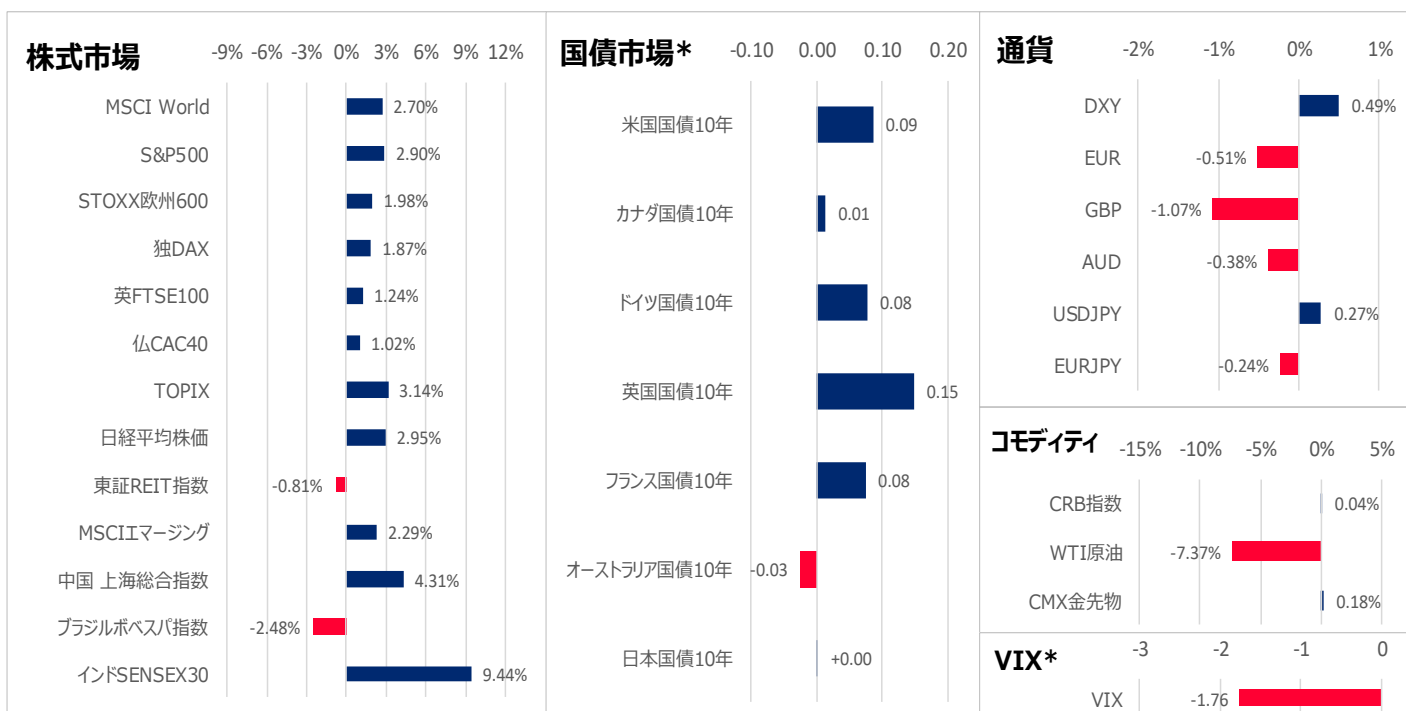
# マンスリーレビュー&アウトルック

2021年9月

## 2021年8月の市場概況

- ・ グローバル株は堅調地合いが継続。米国で資産購入の段階的縮小（テーパリング）の年内開始が示唆されたことや、新型コロナウイルスの感染拡大が嫌気される場面があったが、業績改善期待などを背景に、米国株は上値を迫る動きが継続。冴えない動きが続いた日本株が月末にかけて急速に値を戻したほか、新型コロナウイルスの感染が収束しつつあるインド株の上げ幅が拡大。
- ・ 主要国の長期金利は小幅上昇（価格は下落）。テーパリングの年内開始などが意識されて、米長期国債利回りは上昇。ただし、パウエルFRB議長の発言がハト派的と受け止められたことから、月末にかけて上昇幅を縮小。リスク選好の動きや米国債利回りの上昇に連れて、欧州圏の長期国債利回りも上昇した。
- ・ 新型コロナウイルス変異株の世界的な感染拡大などから、原油価格は下げ幅を拡大。米ドル高の動きから月前半の金価格は売りが優勢となったが、アフガニスタン情勢の悪化などを受け下落分をほぼ戻した。VIX指数は、リスク選好の動きから総じて低位で推移した。

## 2021年8月（7/30～8/31）のグローバル市場動向



※前月末比騰落率、\*は騰落幅

## 株式

プラス要因   米金融緩和策の長期化見通し  
 米中関係の改善とグローバル経済の拡大

マイナス要因   企業業績の増益拡大基調の鈍化  
 地政学リスクの高まりと市場心理の悪化

	2021/8/31	過去1か月	3か月	年初来
MSCI World（現地通貨建て）	10,392.40	2.70%	6.97%	19.61%
S&P500	4,522.68	2.90%	7.58%	20.41%
STOXX欧州600	470.88	1.98%	5.40%	18.01%
独DAX	15,835.09	1.87%	2.68%	15.43%
英FTSE100	7,119.70	1.24%	1.38%	10.20%
仏CAC40	6,680.18	1.02%	3.61%	20.33%
TOPIX	1,960.70	3.14%	1.96%	8.65%
日経平均株価	28,089.54	2.95%	-2.67%	2.35%
東証REIT指数	2,142.91	-0.81%	3.34%	20.13%
MSCIマーキング（現地通貨建て）	176,764.70	2.29%	-3.06%	3.88%
中国 上海総合指数	3,543.94	4.31%	-1.98%	2.04%
ブラジルボヘSPA指数	118,781.00	-2.48%	-5.89%	-0.20%
インドSENSEX30	57,552.39	9.44%	10.81%	20.53%

**国内株式：**新型コロナウイルス変異株の国内感染拡大に歯止めがかからず、上値の重い展開が続いたが、米国株が連日で最高値を更新したことや新型コロナウイルスの感染者数が減少に転じたことなどから、月末にかけて急速に値を戻した。グローバル比較で日本の経済成長力の弱さなどの懸念は残るが、世界的なリスク選好の動きや今後の経済対策への期待感などから、総じて堅調な展開を想定する。

**米国株式：**テーパリングの年内開始への警戒感などから中旬にかけて売りが優勢となったが、好調な企業業績や1兆ドルのインフラ投資法案の上院通過、新型コロナウイルスワクチンの正式承認を背景に、最高値更新が続いた。投資家のリスク選好姿勢に変化はないことから、地政学リスクの高まりなど外部環境の急変がなければ、堅調地合いが継続すると予想。

**欧州株式：**中国の経済指標の悪化や米国の金融緩和策の早期縮小懸念などから、下げ幅を拡大する場面があったが、好決算などを背景にした経済回復への前向きな見方から、堅調地合いが継続した。景気回復の鈍化や新型コロナウイルス感染拡大への懸念はあるが、世界的なリスク選好の動きから、欧州株は上昇基調が継続しよう。

**新興国株式：**新型コロナウイルスの感染拡大や米国の金融緩和策の早期縮小懸念などから、一時的に下げ幅を拡大したが、新型コロナウイルスの感染が収束に向かっているインド株などが牽引して新興国株は反発した。世界的なリスク選好姿勢が新興国株の下支え要因となるが、欧米の金融政策の正常化見通しや景気回復のピークアウト懸念などから、新興国株はやや上値が重い動きを見込む。

# 債券

プラス要因   地政学リスクの高まりに伴うリスク回避の動き  
 インフレ圧力の低下

マイナス要因   新型コロナウイルス感染沈静化に伴う景気過熱  
 米金融政策の正常化前倒しの動き

	2021/8/31	過去1か月	3か月	年初来
(国債利回り)	(利回り %)		(利回り騰落幅)	
米国国債10年	1.31	0.09	-0.29	0.40
カナダ国債10年	1.21	0.01	-0.27	0.54
ドイツ国債10年	-0.38	0.08	-0.20	0.19
英国国債10年	0.71	0.15	-0.08	0.52
フランス国債10年	-0.03	0.08	-0.20	0.31
オーストラリア国債10年	1.16	-0.03	-0.56	0.19
日本国債10年	0.03	0.00	-0.06	0.00
		(トータルリターン…騰落率、スプレッド…騰落幅)		
USD投資適格社債_トータルリターン		-0.33%	3.15%	-0.58%
USD投資適格社債_対米国債スプレッド	+0.95	+0.01	+0.03	-0.07
USDハイイールド社債_トータルリターン		0.51%	2.25%	4.55%
USDハイイールド社債_対米国債スプレッド	+2.88	-0.06	-0.08	-0.72

※対米国債スプレッドとは米国債との利回り格差

**日本国債：**米国債の動きに連れて日本国債利回りも上下したが、日本国債に対する積極的な売買を行う投資家は不在で、狭いレンジ内での推移が継続した。デフレ圧力の強さや足元の景況感から、日本の金融政策に変更の余地は乏しく、10年国債利回りはゼロ%近辺での値動きを想定する。

**米国債：**米雇用統計が市場予想を上回る結果となったことで早期テーパリング懸念が高まり、月前半の米10年国債利回りは上昇基調で推移した。しかし、ジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の発言がハト派的であったことや、アフガニスタン情勢を巡る地政学リスクの高まりを受けて米金利は上げ幅を縮小した。今後の金融政策の正常化が売り材料視されようが、景気回復ペースが鈍化傾向にあることや利上げ開始には時間を要するとの見方から、米国債利回りはレンジ内での推移を見込む。


**欧州債：**米国債利回りの動きに連れて上昇した。また、欧州中央銀行（ECB）のデギンドス副総裁がユーロ圏のマクロ経済予測を再び上方修正する可能性があることなども利回り上昇につながった。周縁国とドイツとの利回りスプレッドは、前月に拡大したスペインなどで小幅に縮小した。欧州域内の景気回復基調が続いていることや今後の金融政策正常化の期待などから、欧州国債利回りは緩やかな上昇基調を想定する。

**新興国ドル建て国債：**米国債の下落に連れて、上旬の新興国ドル建て国債も売りが優勢となったが、リスク選好の動きが続き新興国ドル建て国債のスプレッドは小幅に縮小したこと、基準となる米国債が月末にかけて値を戻したことなどからプラスリターンを確保した。リスク選好の動きが下値を支えようが、一部新興国のインフレ懸念などから、グローバル新興国ドル建て国債は上値が重くなる。

# 通貨等

**米ドル  
プラス要因** 

- 地政学リスクの高まりによる逃避資金のドル買い
- インフレ加速と早期利上げに対する意識の高まり

**米ドル  
マイナス要因** 

- 景気鈍化に伴う米金融緩和策の長期化見通し
- 米中関係の更なる悪化

	2021/8/31	過去1か月	3か月	年初来
DXY	92.63	0.49%	3.11%	2.99%
EUR	1.1809	-0.51%	-3.42%	-3.33%
GBP	1.3755	-1.07%	-3.22%	0.62%
AUD	0.7316	-0.38%	-5.40%	-4.91%
USDJPY	110.02	0.27%	0.40%	6.56%
EURJPY	129.92	-0.24%	-3.02%	2.96%
CRB指数	218.17	0.04%	6.06%	30.02%
WTI原油	68.50	-7.37%	3.29%	41.18%
CMX金先物	1,815.80	0.18%	-4.56%	-4.18%
VIX*	16.48	-1.76	-0.28	-6.27

\*期間騰落は変化幅

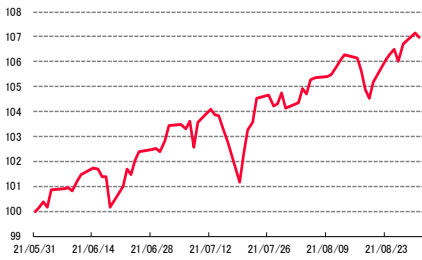
**米ドル**：テーパリングの年内開始見通しやインフラ投資法案の上院通過などを受けて米ドル高が進行したが、パウエルFRB議長のハト派発言を受けた米国債利回りの低下から、月末にかけては上げ幅を縮小した。アフガニスタン情勢を巡る地政学リスクの高まりを受けた米ドル買い・円買いの動きもあり、ドル円レートはレンジ内で推移した。主要国における米国経済の相対的な強さなどから、米ドルは総じて堅調な動きを想定する。

**ユーロ**：欧州最大の貿易相手国である中国の景気後退懸念などがユーロ安要因となったが、ユーロ圏の好調な経済指標が下支えし、ユーロは対ドルで小幅下落に留まった。米ドルと円が強かったことでユーロ円は小幅にユーロ安が進行した。欧州圏の景気回復期待は高いものの、中国の景気後退による欧州圏経済のマイナス影響や米国景気の相対的な強さから、ユーロはレンジ内の推移を見込む。

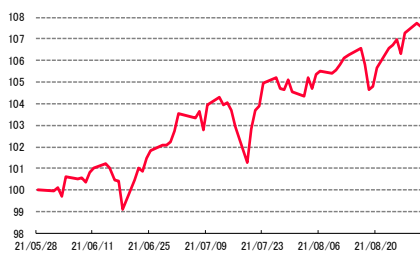
**原油**：新型コロナウイルスの感染拡大を嫌気してリスク回避の動きが進み一時的に下げ幅が拡大したが、米国株の最高値更新や米原油在庫の減少などから月末にかけて値を戻した。地政学リスクの動向によって原油価格が乱高下するリスクには留意が必要だが、今後の供給量増加見通しやグローバル経済の鈍化の可能性などから、上値の重い展開を想定。

**金**：米ドルが堅調に推移したことで月の前半は売りが優勢となったが、アフガニスタン情勢の悪化や米国の金融緩和策の長期化見通しなどを受けて急速に値を戻した。地政学リスクの高まりなどリスク回避の動きが強まる場面では逃避資金の金買いニーズは高まるが、米国金融政策の正常化に向けた動きやグローバルでのリスク選好姿勢から、上値の重い展開となろう。

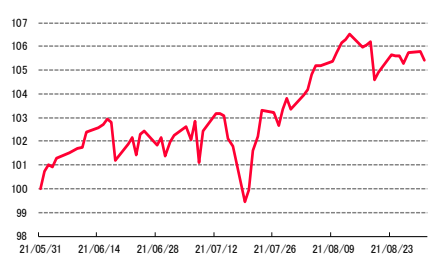
1. MSCI World 株式 USD  
終値: 10,392.40 期間騰落率: +6.97%



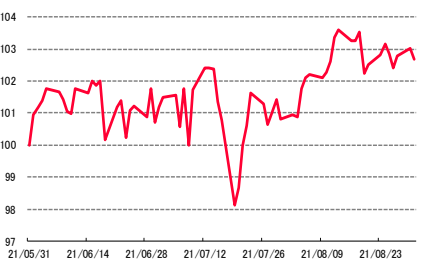
2. S&P500 株式 USD  
終値: 4,522.68 期間騰落率: +7.58%



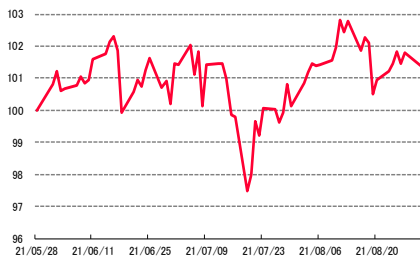
3. STOXX欧州600 株式 EUR  
終値: 470.88 期間騰落率: +5.40%



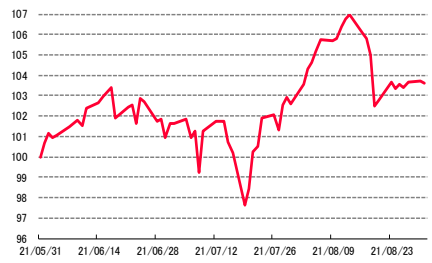
4. 独DAX 株式 EUR  
終値: 15,835.09 期間騰落率: +2.68%



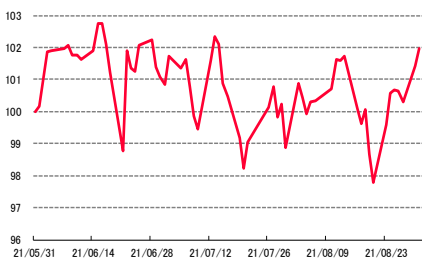
5. 英FTSE100 株式 GBP  
終値: 7,119.70 期間騰落率: +1.38%



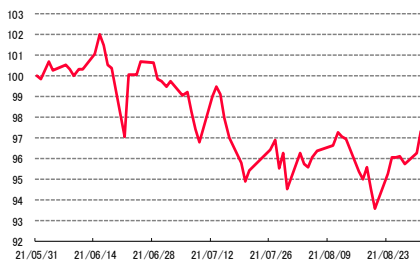
6. 仏CAC40 株式 EUR  
終値: 6,680.18 期間騰落率: +3.61%



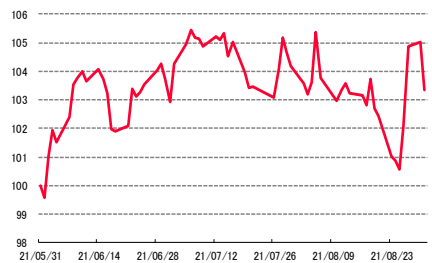
7. TOPIX 株式 JPY  
終値: 1,960.70 期間騰落率: +1.96%



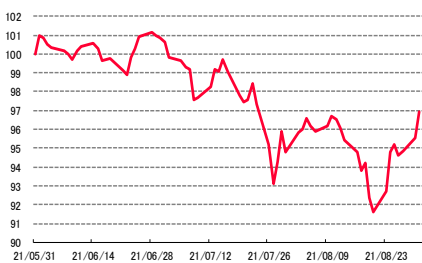
8. 日経平均株価 株式 JPY  
終値: 28,089.54 期間騰落率: -2.67%



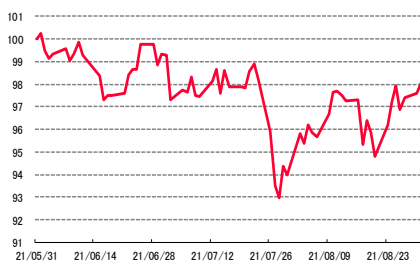
9. 東証REIT指数 株式 JPY  
終値: 2,142.91 期間騰落率: +3.34%



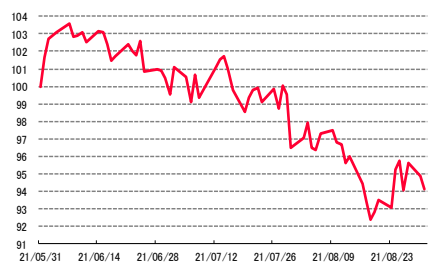
10. MSCIマージン 株式 USD  
終値: 176,764.70 期間騰落率: -3.06%



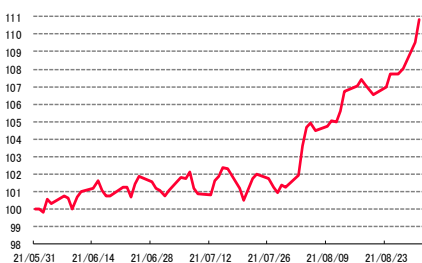
11. 中国 上海総合指数 株式 CNY  
終値: 3,543.94 期間騰落率: -1.98%



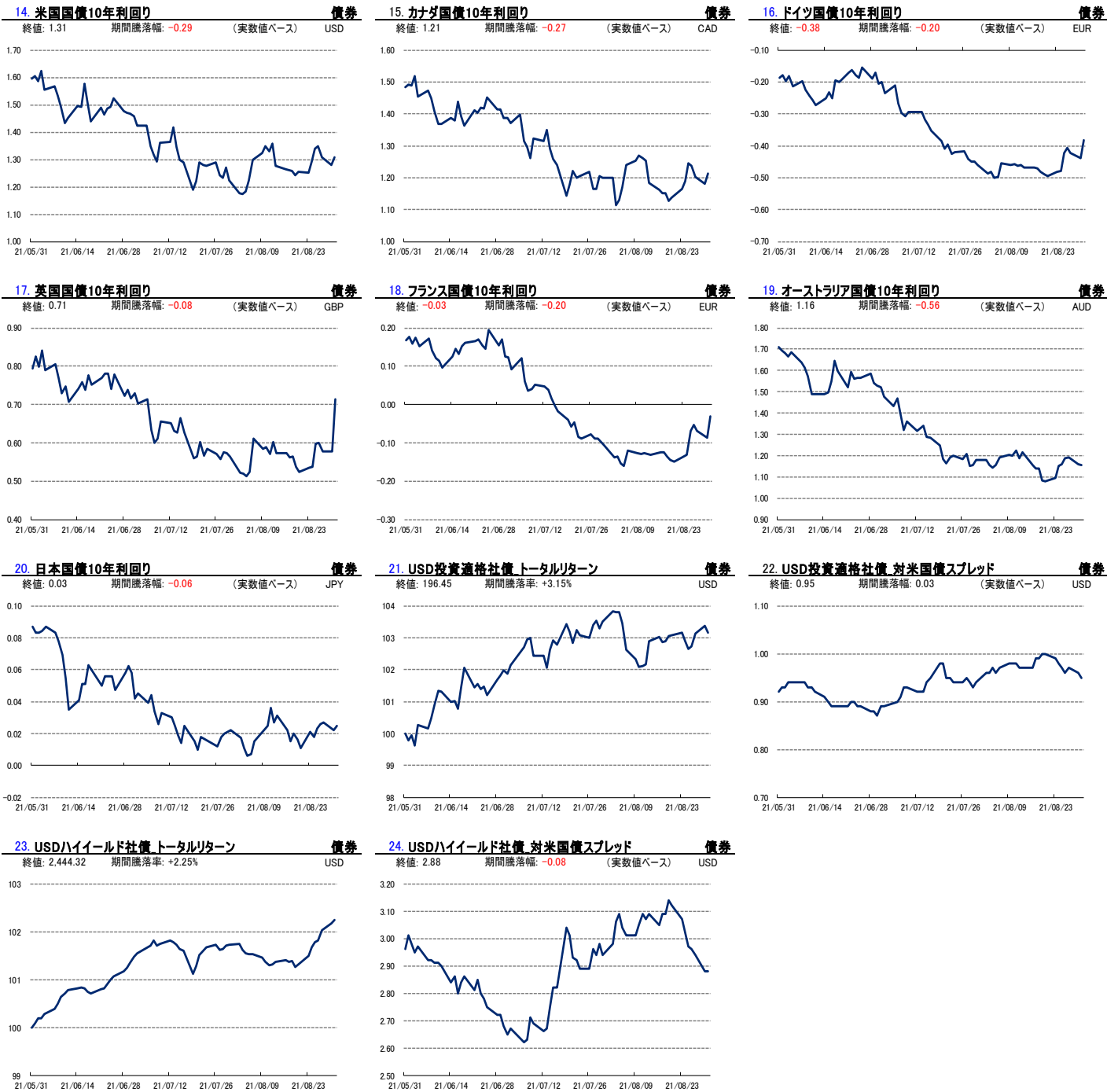
12. ブラジルボバ指数 株式 BRL  
終値: 118,781.00 期間騰落率: -5.89%



13. インドSENSEX30 株式 INR  
終値: 57,552.39 期間騰落率: +10.81%



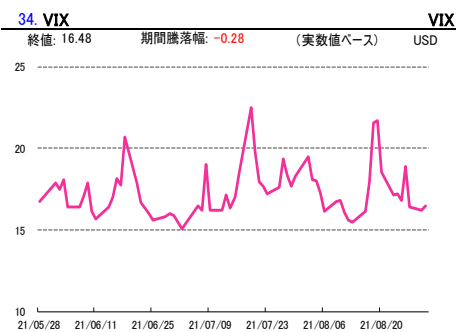
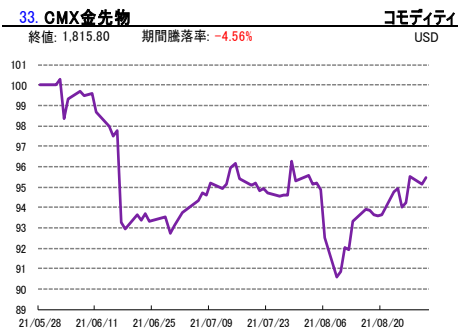
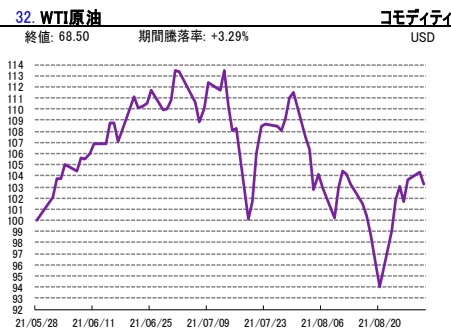
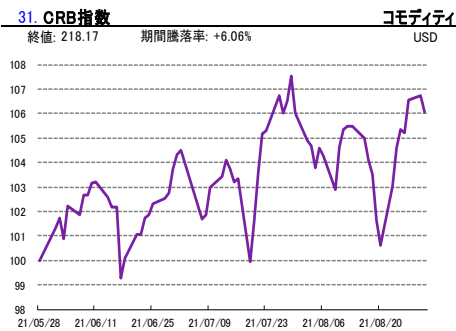
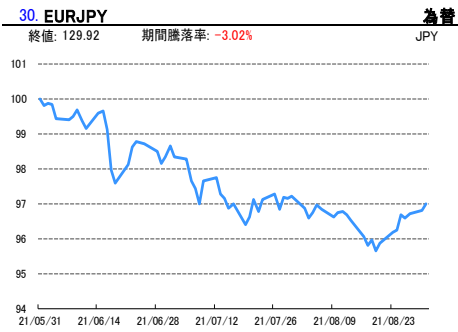
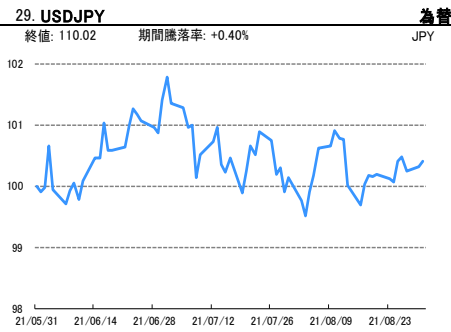
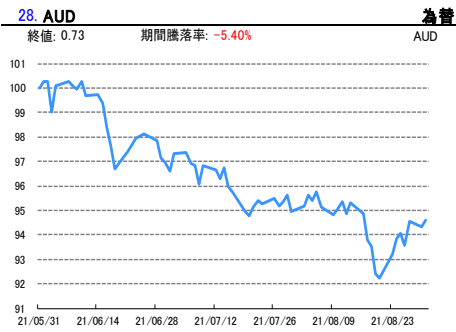
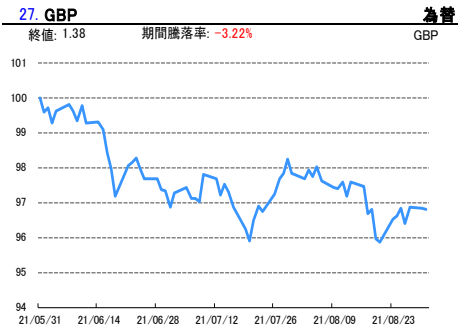
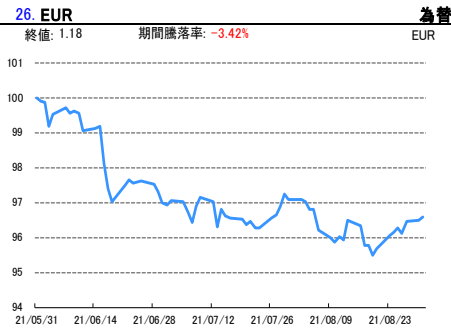
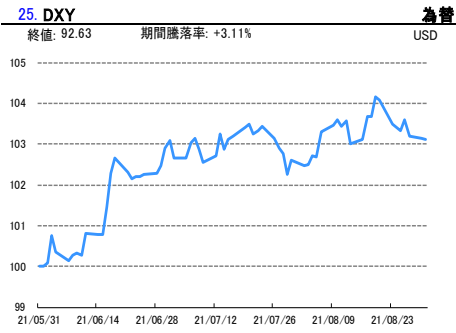
※ 直近3カ月（2021年6月～2021年8月）の日足チャートです。起点（2021年5月末日）を100として指数化しています。  
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。  
 ※ プルームバーグデータをもとに弊社作成。



※ 直近3か月（2021年6月～2021年8月）の日足チャートです。起点（2021年5月末日）を100として指数化しています(実数値ベース以外)。  
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。  
 ※ プルームバークデータをもとに弊社作成。

# appendix

# 為替/コモディティ/VIX



※ 直近3か月（2021年6月～2021年8月）の日足チャートです。起点（2021年5月末日）を100として指数化しています(実数値ベース以外)。  
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。  
 ※ プルームバーグデータをもとに弊社作成。

## 当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について

当資料は情報提供を目的としてPayPayアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中に記載した内容、数値、図表等は、当資料作成時点のものであり、今後、予告なく変更することがあります。当資料で使用している各指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資成果を示唆ないし保証するものではありません。

使用している指数は以下の通り（すべて現地通貨建て）

### 【株式】

MSCI World：MSCIワールド・グロス・トータルリターン・インデックス、S&P500：S&P500種株価指数、STOXX欧州600：STOXX Europe 600種株価指数、独DAX：ドイツDAX指数、英FTSE100：イギリスFTSE100指数、仏CAC40：フランスCAC40指数、TOPIX：東証株価指数、MSCIエマージング：MSCIエマージング・グロス・トータルリターン・インデックス、中国 上海総合指数：中国 上海総合指数 (Shanghai Stock Exchange Composite Index)、ブラジルボベスパ指数：ブラジル ボベスパ指数 (Ibovespa Index)、インドSENSEX30：S&P BSEセンセックス指数 (S&P BSE Sensex Index)

### 【債券】

USD投資適格社債\_トータルリターン：Bloomberg Barclays米ドル建て投資適格社債トータルリターン・インデックス、USDハイイールド社債\_トータルリターン：Bloomberg Barclays米国米ドル建てハイイールド社債トータルリターン・インデックス

### 【為替等】

DXY：米ドル・インデックス、EUR：ユーロ/米ドル 為替スポット、GBP：英ポンド/米ドル 為替スポット、AUD：オーストラリアドル/米ドル 為替スポット、USDJPY：米ドル/円 為替スポット、EURJPY：ユーロ/円 為替スポット、WTI原油：WTI原油先物価格1番限、CMX金先物：COMEX金先物価格1番限、VIX：CBOE S&P500ボラティリティ・インデックス

出所：ブルームバーグ